

レジメン名称: オブジーボ(d1) q2w

胃癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)
 身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 2 週間 Day 1.....8.....15
オブジーボ	240 mg/body	↓

注意事項

オブジーボのルートにはフィルター付き輸液セット（ニプロフィルターセット STFPG-20BRCG）使用

オブジーボ：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

初回および 8 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり（詳細は投与方法の項を参照）

CV ポート使用時は、微粒子発生リスク低減のため、レジメンどおりに生食でルートキープし、オブジーボはレジメンどおりの希釈濃度で投与してください。 2020/1/29 追記

特に注意する副作用

間質性肺疾患、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・重度の下痢、1 型糖尿病、免疫性血小板減少性紫斑病
 肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症
 インフュージョンリアクション

投与方法：1 日目	
1	（ケモセーフ不要） 生食 100mL メインルートをプライミング
2	オブジーボ 240 mg, 生食 40 mL (生食 100 のボトルを使用) フィルター付き輸液セット使用 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄